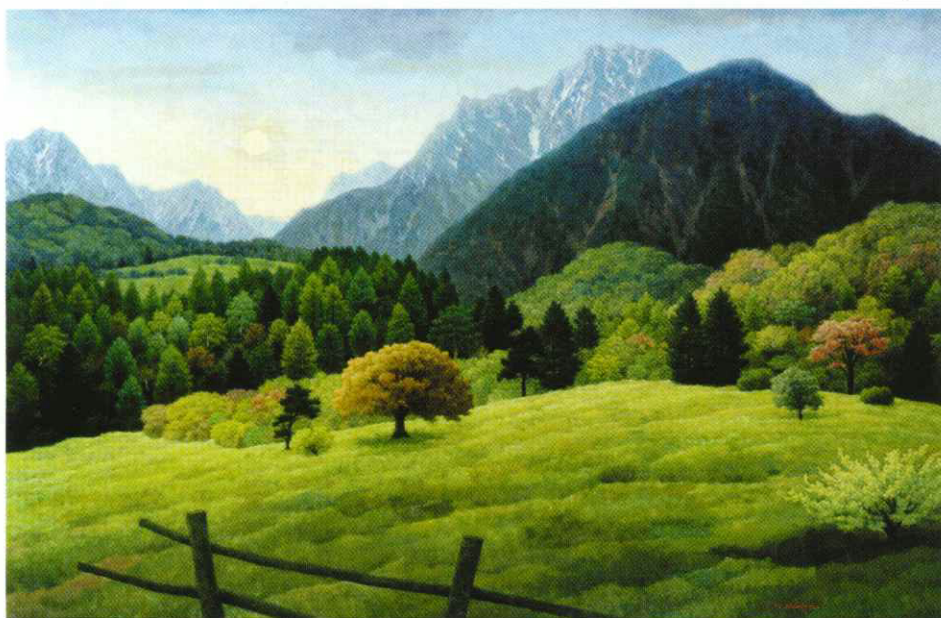




「高原の木」成田禎介 (9-6) 作 第47回示現会展 (1994年) より
——新緑の八ヶ岳牧場にて。高原の澄みきった空気の中で春を描く。——

わかば

ワカバ会

52号

東京都立三田高等学校
同窓会
社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46
電話 (03)3451-0227
FAX (03)3452-4590
E-mail: t-mita@wakaba-kai.org

時間
午前10時～午後4時
休日
土曜・日曜・祝祭日

◆ 軽井沢山荘 — 私はこう思う — p 2

前号の「山荘特集」掲載後にいただいた投書から、皆様の意見をご紹介します。

◆ 特集 第六通信 p 4

◆ 総会報告 p 13

初めての試みだったホームカミングデーの効果もあって、今年度の総会は盛況でした。
詳しい予算決算報告も併せてごらんください。

ワカバ会のホームページ〈現在試験運用中です〉
<http://www.wakaba-kai.org/>

総会の議事の中でご報告したとおり、ワカバ山荘の運営については種々の問題があり、会としては、理事会の下に山荘委員会を設置し、これを慎重に検討することにしておりますが、会員の皆様も広範なご意見をお寄せ頂きたいと思っております。

このほか、ワカバ会の現状をより良くご理解いただけるよう、本年度の会報秋号から会の決算、予算の詳細を掲載するとともに、ワカバ会のホームページを開くための準備を進めております。



会員の皆様へ

ワカバ会会長 小野 紘一 (813)

本年度の総会は、新しく企画されたホームカミングデーなどもあり、大先輩の方々から若い

期の皆様まで、多数の会員が出席され大盛況であったことを感謝いたします。今後とも、会員の皆様が喜んで出席し、ワカバ会の会員として会の活動にも積極的に参加して下さいよう期待しております。

ホームカミングデーの皆様、ぜひ総会へ！

来年度総会のホームカミングデーにあたるのは、平成5年 (45回生)、昭和58年 (35回生)、昭和48年 (25回生)、昭和38年 (15回生)、昭和28年 (5回生)、昭和18年 (第六16回生)、昭和8年 (第六6回生) の各3月に卒業された方々です。

軽井沢山荘滞在記

―緑陰を楽しむ安らぎの宿―

10-5 田村 和子



総会の福引で思いがけず頂いた軽井沢山荘宿泊券にもう一泊プラスして、七月の台風がもたらした強風雨の中、同期の佐野満里子さんと昼前のあさま号に乗った。軽井沢につくころはすっかり晴天に。透き通るような青空の下、日差しは強いがさわやかな高原の風が吹き抜ける。

まず若者でにぎわうチーズ屋さんでピザとバスタのお昼。そのあと雲場の池までぶらぶら。毎年冬に探鳥会で訪れる静かな池も、夏の真昼で小鳥は不在。一周して旧軽井沢のにぎやかな通りへ抜けた。タクシーで山荘へ、早速入浴してのんびりする。窓を開けると染まるような緑の森、遠くでカッコーもホトトギスも鳴いた。

夕食の食堂で先客にご挨拶。元氣印の佐藤さん(高5)ら六人はほぼ毎年山荘を利用してきた大先輩。おしゃれなマダムの三人組は六回生で、「閉荘すると聞いて初めてやってきた」方々。小・中学校も同窓の岡村さん(高11)たち三人にお目にかかってびっくり。声楽や器楽が専門でやはり初めての来荘。別館のピアノで、早速合唱をなさっていた。

音楽関係者には、ピアノがあり声楽や器楽の練習が心置きなくできる宿があれば合宿などに使いたい人が多いとか。軽井沢山荘のほかに多くの同窓生が親しく集う同窓会活動はない。簡単に閉荘してよいのかというのが皆さんの意見だった。

私も昨年初めて山荘を利用。今回ゆっくり滞在してみ、木材をぜいたくに使った広いパブリックスペースや食堂など同窓生の設計による建物の居心地のよさを味わい、清潔な設備管理、質量ともに十分な食事など、同窓会の山荘らしい質素だが心豊かなもてなしに大満足した。

しかし、この山荘建設を推進した主力は第六高女卒業の先輩たちであり、高齢化に伴い足が遠のいてきた。自分の山荘という感覚が薄い三田の卒業生には、山荘の意義は小さくなっているのだらう。山荘を閉める場合には、どのような方法が良いのか十分な検討が必要だ。軽井沢の厳しい気象条件では、閉荘すれば山荘はすぐ朽ち果てる。

有志を募って維持会員とし、別荘として共同利用するなど一案ではないか。この気持ちのよい山荘を、少なくとも今の建物の寿命までは何とかして使おうべきだという気がした。

翌日は私たち二人だけ。しなの鉄道で御代田に行きメルシャン美術館を楽しんだ。帰りに駅前の不動産屋を覗くと、山荘周辺は三〇〇坪で一五五万円という相場。現代人は、自然の中に身を置いてゆつくりと時間を過ごす夏の楽しみを忘れてしまったのだろうか。

軽井沢山荘―私はこう思う(投書から)

「わかば51号」の「山荘特集」では、ワカバ会軽井沢山荘の経営面での窮状についてお伝えしましたが、皆様、どのような感想をお持ちになりましたでしょうか。長引く不況の中で、せつかくの厚生施設を手放す企業や団体は決して珍しくありませんが、このワカバ山荘に関しては、かなりの方が「寝耳に水」と感じられたよう、様々なご意見をお寄せくださいました。今回は、これらのご意見の中からいくつかをご紹介させていただきます。なお、今年度、山荘を利用してくださいました方々にもアンケートをお願いしましたが、その結果については、次回ご報告いたします。

さて今年度の山荘利用状況(7月15日(9月15日)ですが、現時点(8月末)では、約五百五十名で、再び赤字となるのは明らかです。理事会では、このような山荘の問題を審議していくために、「山荘検討小委員会」の設立を決定いたしました。が、会員の皆様からも、幅広いご意見をお聞かせいただきました。今後もお便りをお待ちしています。

存続を

▼閉鎖する前に、各大学によびかけて、ゼミ合宿などの利用を勧めたら如何ですか。三田の卒業生のいる大学でその人が一緒ならよろしいかと思えます。安く宿泊できるので喜ぶと思いますがとりあえず慶応大学など卒業生がたくさん行っている大学に呼びかけ、集団で利用してもらうことです。それでもだめだったら次の手を考えましょう。

(旧職員)

▼手っ取り早いのは、寄付金を募って当座の赤字を埋め、その上で、山荘経営の構造改革をできるだけ短期間で行うこと。どんな改革がよいかは多くのかたに知恵をだしてもらいます。

(22回生)

▼何故、利用されないのか不思議なのですが、やはり駅から遠い為だと思えます。でもそれだからこそ良さがあります。(略)近いうちに、ホームページが出来る、ということですので、利用者の声・質問コーナーを作り、利用者が本音を自由に書き込めるようにしたいかがでしょうか。また、若い方ならここを拠点にして、日帰り温泉など楽しむことも可能です。

せつかくの素敵な施設ですので、ホームページに載せて利用が増えるのを願って、あと一、二年頑張ってみることは出来ないでしょうか。(30回生)

先生方の近況

(敬称略・順不同)

教頭 金原 達人

観光旅行、園芸、そして趣味の書道と毎日忙しく過ごしております。

今年は六十歳代最後の年となりました。初めての七十歳を迎えるので少し緊張しています。

事務 佐藤栄士良

会報第五十一号で旧職員鈴木晋先生のご逝去を知り、驚きといった次第です。家内の元担任、小生も十年余り三田高校に在職、家も比較的近くであつた事もあり、時折外食の時などお会いする事がありご挨拶をかわしております。心より謹んで冥福をお祈り申し上げます。

社会 田中 公一

この三月、四十八年に及ぶサラリーマン生活に終止符を打ちましたが元気でやっています。

最近、大江戸線をよく利用し、「赤羽橋」を通ると、十年勤めた三田高校も便利になったものだと感じています。

社会 海野 省治

定年迄一年足らずとなりました。都立青山高校長として働いております。都立で一番長く勤務した三田高校でも大切な高校です。

英語 南原 久子

昨年の秋より学生時代に画いていた絵を再びはじめ、大小の展覧会にも三回参加しました。絵の中に自分自身を投じ楽しんでおります。

絵を通じ、三田高大先輩達にもお会いするチャンスがあり、嬉しく思っております。

社会 元木 光雄

昨年の暮、八十歳になりました。まだ週一回東京女学館・百年資料室に出かけます。また、時には世田谷文学館の文学散歩の手伝いもします。

保体 永作誠一郎

今年の四月一日より、武蔵村山地区全日制普通科単位制高校(仮称)の開校準備室の要員として、都立武蔵村山東高校の会議室にて二〇〇四年開校を目指し仕事をしております。

国語 西岡 昭雄

勤務校が偶然母校なのですが、三何年かぶりですので、校舎も新しくなり、浦島太郎のような心持ちです。

生徒達は三田の生徒とほとんど変わらない感じで授業は静かに聴いてくれます。

国語 荒木ラン子

この四月から八丈島に来ています。八丈高校の定時制につとめています。村井先生がいらした、あの八丈です。山と海に囲まれて、毎日、テクテク歩いて通っています。給食が頼りで、給食のない土日は飢えています。牛乳が、めちやめちやおいしいです。えびの顔は見えていません。花があふれている高校です。

講師 吉岡百々子

現在、都立井草高校と都立鷺宮高校で書道の講師をしています。

今年は、井草高校も鷺宮高校も東京都を代表して全国大会に出場しますので大変忙しくしています。

国語 豊田 勝弘

嘱託として日比谷高校国語科勤務、二年目になり元気にやっています。

三田と同学区でありながら、立地条件はかなり違います。国会議事堂と自民党本部を望む教室で授業をしています。時折、道で有名な人に出会ったりもします。

理科 簗田 裕一

年金生活ですので、窮々(?)なのですが、気分的には前向きに、悠々と閑々かつ自適の生活を日替わりメニューで楽しんでいます。

総会の出欠はがきより転載させていただきます。

閉鎖も...

▼山荘存続は無理でしょうね。何か別の形で会員のよりどころとなるものが考えられると良いのですが。(26回生)

▼一度も利用したことはありません。

南軽井沢には特に魅力はありませんし、地の利が悪いからです。(略)この規模の建物は多分誰も買ってはくれないと思います。いつそのこと長野県なり軽井沢町なりに寄贈しては？(29回生)

▼立地条件が悪いので閉鎖すべきと考えます。売却しても赤字を埋めるような値で売れるかどうかわかりませんが、それでも売却すべきです。管理会社に相談すると思います。仲介料を取られて割高になるようだと直接希望者に売却が一番よいのでしょうか。

(9回生)

▼山荘を存続させるために、という前提がそもそもおかしいと思います。こんなひどい赤字で、しかも地の利が悪く、若い人が利用したいと思わないようならば、もう打開策はないでしょう。新しい施設を作るのはおそらく無理でしょうから、細々とでも続けられれば本当はいいのですが。残念ですが、閉鎖するしかないと思います。

(32回生)

特集

第六通信

ときのかなた

17-E 高橋 良子(新井)

サッカー騒ぎが静まって、スポーツは健康のためのものと、校外試合を禁じた丸山先生の遠見がしのばれる。

私は学校の外では、映画、演劇、展覧会、音楽会と楽しんでいて、ひどい音痴なのに、殊に音楽にひかれていた。同級の大江孝子さんにもらった絹のストッキングで、日比谷公会堂のボックスに自分だけのロマンチズムに沈んでいた。



2001.5.16 旧才組クラス会「若緒会」
右から2人目が筆者

孝子さんは時々私のオルガンをひきにみえていたが、三月の空襲でなく、キイに手をおいてたお下げ髪が目

今回は十六回から二十回卒の方にお願いしました。

うかぶ、教会にでもありそうな古めかしいオルガンもあの時灰になった。

私は今、ゴミから核まで四十年の社会活動をやめて、文芸評論に燬火をかきたてられていて、何かと大騒ぎしていた第六時代を想い出している。

強行遠足

16-I 浅野日出子(伊藤)

第六の5年間、勉強苦手の私は授業以外は何でも楽しく、校外授業・適応遠足そしてたまに申し込み自由の強行遠足。どれも時代を思わせるネーミングで笑っちゃいますが、文理科大(現学芸大)山岳部ご出身の長津先生に山歩き楽しさを教えていただきました。水上先生、涌井先生、岩崎ひろのお母様の岩崎先生。十代の私からはお年にみえた先生方も澁刺と歩いておられました。第六から受けた影響のなかでこの何回かの山行は私の生き方に深く関わり、今も毎週山にゆかないではいられないのです。

担当の高城先生も長津先生も独身青年でしたが、もう皆様亡くなられてしまいました。憎まれっ子世にはばかる

で、憎たらしいババアの方が面白がつて生きられるんじゃないかしらと、不肖の弟子は日々を過ごしております。

知恵と体力をありがとう

17-E 正林 婦美(大道)

昭和十四年春、入学に先立ち制服の採寸で校庭にいた時、鼠色の詰襟を着た人が通りかかった。



「校長先生よ」と母に耳打ちさ

れ「あら小使いさんかと思った」と言う、いきなり腕を掴まれて隅の方に引き、「皆に笑われたじゃない」と叱られた。それが尊敬する丸山丈作先生だった。担任中西憲三先生。号令なしの朝・終礼。定期試験なしの代わりに授業終了間近に用紙を配られて不意試験。原子記号を今すぐ覚えてと先生は窓の外等眺めておられ、時間が来ると片端から指さるので一巡する頃には嫌でも覚えてしまう仕組。広尾からの徒歩通学、適応遠足で十里踏破、三津浜の遠泳挑戦等、自由な楽しい雰囲気の中で培われた集中力・忍耐力・体力のお蔭で、戦争による逆境の真最中に医学を習得、それを少しでも社会に還元できたのではないかと感謝している。

夢よう一度

18-修工 市川 英子(熊田)

三田通りもすっかり変わり、学校も昔の面影は無く、第六時代とは思えない出の中だけにあるのかもしれない。その中で今もう一度蘇らせたいものがあります。

それは・・・初代校長の丸山丈作先生が全校皆泳を願って昭和六年に造られたプールから生まれ育った第六ワカバの伝統『日本泳法・水府流太田派』の継承です。女子水泳界で名を成した野口徳先生は四回卒業。その後には多くの後輩が続きワカバの存在は大きく、日本泳法の発展に協力しました。亡くなられた宮畑先生もご縁に繋がるお一人でした。残念なのは第六から三田高への流れが途絶えてしまった事です。卒業生・在校生を問わず、生涯水泳としても様々な良いものを持つている日本泳法を見直して、もう一度泳ぎませんか。そして第六から三田高へ続く伝統を蘇らせませんか。



1977.6.3 三田高校・新プール開きで日本泳法を披露した仲間と

戦時下の学生生活

19才 田島 栄子



名門の第六に合格し胸を弾ませ校門をくぐったのはもう六十一年前です。朝礼が終わると、上級生から順に行進曲に合わせ、スカートの音、靴音軽く校舎に消え行く姿が美しく印象的でした。お山の四季折々の風音、中庭の風情、勉学と友達との歓談等楽しい一時でした。小岩からの通学路線で、朝稀に行き逢う二年上の榎本さんが、「最初が大事、良い成績を上げて認められる事」と教えてくれました。果たして私は？ やつと学生生活に慣れた十二月八日、真珠湾攻撃、米英と開戦になり、相次ぐ勝利の報に支障なく授業を受け第六精神に基づく様々な訓練を重ねて来ましたが、三年になると週何回か国勢調査の仕事、次は学外で四会社の工場に勤労働員、四年になると東京計器へ学徒報国隊の腕章とカーキ色のズボン上下。卒業は一年短縮され写真も無く警報に追われ家路へ急ぎました。

愛する第六

18 修才 毛利 準

「第六」。本当に素晴らしい女学校であつた。と今でも誇りに思っています。丸山校長のユニークな教育理念に従つて実に伸びやかに明るく、併し、文理大や、女高師その他を首席で出られた優秀な先生方の御指導の下、実にしっかりと勉強させられ、学生も非常に真面目に努力致しました。冬も温水で泳げた室内プール。沼部の農園での作業体験。神宮外苑競技場での見事な運動会。40Kを歩いた適応遠足等、思い出は尽きませんが、戦争の激化と共に様々の行事も打ち切れ、勤労働員が始まり、国を挙げて、暗黒の時代へと突入致しました。併し50年を経て、クラス会で皆様にお会いする度、その若々しさ、前向きに人生を歩んでおられるお姿に、「矢張り、第六は違う」と頼もしく思います。私は声楽を専攻し、演奏活動の後には、芸大名誉教授として、大学に籍を置いています。第六で育てられた、第六魂のお蔭と、感謝いたしております。

坤雑感

20 エ 山本 温子(武内)

最近、プールや海で「のし」で泳ぐ人を殆ど見かけない。日本泳法の一つ「のし」は、競争の時代には、合わない

20回工組第一回目のクラス会(第六校庭で)

中央は小泉(山田)先生
前列右より3人目が筆者 昭和21年

いのだらうか。けれど私は、第六でこの泳法を学んだ事を感謝している。手足を思いきり伸ばした時、すーいと水に乗って進む、あの爽快感は格別だ。何よりも力の無駄がなく疲れにくい。三年の夏に、学徒動員になり、終戦まで工場に通った私達は、プールの思い出は短く、だからこそ印象深い。プール開きの日に、先輩が披露して下さった「古式泳法」の妙技は、今も脳裏に焼きついていて。戦争を共に潜り抜けた第六育ちの元気な私達も、齢七十を越えた。これからは、共に「のし」を覚えた仲間達と励まし合いながら、のし泳ぎの様に競わず、力まず、ムダヲシナイ(丸山先生の教え)で、仲々と自然体で過ごしたいと思う。

支部連絡先

札幌	32-6	伊藤 早苗	〒063-0811	札幌市西区琴似一条2丁目5-3-403	011-644-4418
東北	7-ウ	寺嶋 辰代	〒981-0411	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
さいたま	18修才	中村 泰子	〒336-0014	さいたま市前地3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261-0012	千葉県美浜区磯辺6-6-10-304	043-277-3469
湘南	20-ア	大久保千英子	〒248-0035	鎌倉市西鎌倉2-18-19	0467-32-5635
静岡	5-2	稲葉和寿子	〒422-8071	静岡市豊原町2-13	054-285-6573
東海	2-2	神野能生子	〒440-0806	豊橋市八町通4-48	0532-53-3261
関西	16-ア	松井 好	〒631-0804	奈良市神功5-9-24	0742-71-8226
京都	5-才	山田 啓子	〒617-0824	長岡京市天神4-6-15	075-951-1477
福岡	7-3	爲数 俊子	〒818-0101	太宰府市観世音寺6-16-16	092-923-0849
大分	4-4	山下 延子	〒870-0826	大分市城南西町2A-27-2712	097-543-4233

私の近況

「臨床心理士」として

4-3 松島 淑恵

卒業後五十年になります。大学(教育心理学専攻)を出て、当時はまだ余り知られていなかった「教育相談所」の相談員という職についてから今までカウンセラーの仕事が続けてきました。相談の対象は情緒障害や精神発達障害と言われるお子さんから、「心を病む」大人へと移って来ましたが、基本的には、こうした人達とどうしたら心安らかに一緒にいられるかという点では変わりありません。総合病院の精神科や単科の専門病院、そして東京都の一般の方を対象にした相談所などで仕事をしてきました。

現在は臨床心理士資格認定協会の認定を得た大勢の若い「臨床心理士」たちが、児童相談所や病院でまたスクールカウンセラーとして活躍しています。



今の私は主に、これらの若い人の教育と指導に当たっています。

今回は高校の卒業回数末尾4の方に原稿をお願いいたしました。



「まろうど」からこんにちは

14-6 いしがき京子

まればと転じて「まろうど」。我が古家一階のフリースペースをそう呼ぶ。アトリエ、フェアトレードショップ、ギャラリー、ワークショップ等を使用互いに表現し合い語り合い、心を耕したい、真に大切な情報を分かち合いたい。十代から八十代まで、異世代の様々な仕事や趣味を持つ人たちが集う。感性を共有し知恵を出し合い、より面白くより確かな場を共に創り出したい。年二回「まろうどからの風」を発行。書き手によるワークショップでは、読み手との出会いが生まれ、深まる。わたしには、ひとりの生命を預かるというもうひとつの大切な仕事がある。

世に言う介護だが、自身の生き方のセリが問われ続けるので、愚か者には厳しい仕事だ。

さて今秋のミニギャラリーには、老母「八十七歳のクレヨン画」が並ぶ。ようこそ「まろうど」へ。

書道とともに

24-2 神宮司淳子(室伏)

大学で書道を専攻し、卒業後四年程神奈川県立高校の芸術科書道の非常勤講師をしておりましたが、結婚・出産子育てでしばらく中断し専業主婦に収まっております。

十年のブランクの後、毎年二月に都美術館で開かれる書道展出品を目標に再び筆を持ち始めていたところ、偶然にも自宅近くの県立高校で書道講師の話があり、十九年振りに高校生と触れ合う機会を得ました。二十年前の生徒とは文字に対する意識の違いは大いにありますが、パソコン世代の子供達に「書は人なり」などと言っても、ピンとこないのは仕方無いこととはいえ、寂しい限りです。それでも高校選抜書展に向けて夏休みにしかかわらず作品制作に励んでいる生徒が数人ながらもいることを嬉しく思い、彼らが伝統を受け継いでくれることを期待しています。

はるかアイルランドから

34-1 小林由紀子

ご無沙汰いたしております。

私は大学卒業後、六年間コンピュータ関係の会社で働いた後、一九九二年にイギリスに留学しました。当初の予定としては、二、三年の滞在のつもりだったのですが、ロンドン大学で博士課程などに首をつっこんだために、計八年もの学生生活となりました。経済的には綱渡りの生活でしたが、大学内でアシスタント講師、コンピュータ相談窓口などあらゆるアルバイトをしたことは後の就職のプラスにもなったようです。論文のテーマは「現代イギリスにおけるアイルランド移民の社会人口学的特徴」です。

私的な面では留学中に知り合ったアイルランドの青年と結婚し、現在はダブルリンで、アイルランドの労働基準局に当たる役所で、統計、調査に携わっております。では皆様お元気で。



ロンドン大学(LSE)にて人口統計学の博士号を授与される

学校だより

教頭 湯澤 賢児

今年の夏季休業中の中学生の学校見学者は、昨年度が三三四名で今年は、四九二名と大幅に増加しました。その理由は、来年度の入学選抜制度が大きく変わるからです。学区制が撤廃され都内のどこからでも、すべての都立高校への受験が可能になったからです。実は、一学区からの見学者は、昨年度が二三四人、今年が二六七人でほとんど変わりありませんでした。一学区以外の他学区からの見学者が、昨年の一〇〇名から、今年は、二倍以上の二二五名と増加したのです。受験生にとって、通学圏内にある高校から、志望校を選択することになったからです。入学選抜制度で、もう一つ大きく変わるがあります。今までは、調査書と学力検査の結果で選抜を行ってきたのですが、それに加えて、来年度からは、「自己PRカード」が導入されます。これは、調査書に記載されない受験生の意欲や活動状況などを多面的に評価するためのものです。これを点数化し選抜のための資料とします。受験生本人が、志望理由、中学校での様々な活動の実績を書くこととなります。志望する都立高校に対して、自分をどのようにPRするかと言うことです。高校の入学選抜も自分をどう売り込むかという時代となりました。

自分の人生、

三十代を目前にして

44-7 糠信 義弘



私は現在、映像を主とする俳優として活動をしています。最近では力ゴメの野菜飲料のCMにサラリーマン役で出演していますので、御覧になった方もおられるかと思います。今現在、出演料だけでは食べてはいけないのでバイトをしながら仕事をし、オーディションを受け、自分の稽古をし、の毎日です。実際、三十路を来年に控え、一部の友人達は「いい加減ちゃんとしろよ...」「いつまでも夢みたいな事言ってるな」と忠告(?)してくれまます。確かに一般的な社会人の範疇には当て嵌まらない生活ではありますが、親兄弟、親族はもちろん、三田の同級生、先輩後輩、多くの、様々な人達が支え、支持してくれているのも事実です。いつか、全ての方々に胸を張って「皆様のおかげで」と言える人間、俳優になろうと、努力しています。

時間

54-7 柳平 理佐

三田高を卒業して数ヶ月が経っている。

大学はテストが終わり夏休みに入っているが、長い休みで時間の使い方に一工夫を入れる時が来た。

前期はサークルで忙しくバイトなどできなかったため、金欠の私では遊んでばかりいられない。当のサークルにこの時期に活動はないため、バイトを探していた自分。面接を受けるも不採用で落ち込みぎみ。そんな暇もなく探すわけだが、なかなかうまく具合にいいものなど見つからない。そして本当は他にすることがあるのにぼうっとして、気がつくとき携帯をいじっていたりします。大学の広く大きなキャンパス内で知り合いに会うと嬉しくなり急いでいることはそつちのけで、話し放し結局、人とのつながりで時間を埋めているような最近の近況です。



OB会連絡先

(ワカバ会まで連絡いただければ、次回より掲載します)

部 名	代表者又は連絡係	卒業回数	〒	住 所	電話番号
アメフト	五十嵐 清	29-3	141-0021	品川区上大崎 1-5-10	3441-8384
三籠会 (バスケ)	山田 一穂	8-3	270-2241	大室様方 アメフト部後援会気付 松戸市松戸新田 443-25	047-364-7514
ラグビー	内藤 宗夫	25-7	270-1359	印西市木刈 2-29-3	0476-46-4195
バドミントン	高木 俊輔	48-3	361-0022	行田市桜町 1-24-1-103	3732-4960
弓 道	石井 健一	42-8	144-0052	大田区蒲田 3-10-5-308	3456-8702
管弦楽 (室内楽)	甲斐 順也	44-8	105-0022	港区海岸 2-5-15-205	3733-1326
バレーボール	佐藤 大悟	47-2	144-0055	大田区仲六郷 1-24-9-601	5735-5280
水 泳	井上 優子	51-3	144-0044	大田区本羽田 1-29-15-401	0298-76-2101
卓 球	橋本 一夫	19-6	300-1266	稲敷郡荏岐町自由が丘 430-12	5420-7650
フォークソング	和田 典也	33-4	108-0074	港区高輪 2-1-11-611	

保津川下り(京都支部)

5才 山田 啓子(大野)

平成十三年五月八日、京都支部は保津川下りを試みた。総勢十三名嵯峨駅十時集合、天気は曇り。昔とは大違いの屋根つきピカピカのトロツコ列車にのりこむ。用意した指定席券不用のガラすき。十時二十六分発車。眼下の保津川はついたり離れたり鉄橋を渡るかと思うとトンネルをぬける。十時五十一分亀山駅着。迎えの車で榮々荘に入る。この建物は山陰線の創始者、田中源太郎氏の旧居で重厚な造りの和室に暖炉つきの洋室、文化財の指定を受けてる。三千五百円のミニ会席を楽しんだ。五分程歩き石段下の舟付き場で十四時発の舟にのる。雨となり前方にビニールシートがはられ展望はきかない。時折キヤーツという声や舳が岩にすれる音にハツとしたが兩岸にたれる岩藤の花も目立たず、櫓の音棹のさばきに眠りを誘われる中に二時間の舟下りも終え嵐山の土堤下に着いた。混雑を心配したが案外のおんびりした川下りであった。

9 回工組最後のクラス会

9エ 森下 賀子(平野)

今年五月に私達は最後のクラス会を開きました。昭和十一年に卒業して以来、六十五年間大切に守って来た一年一度のクラス会の行事でございます。戦時中の四年間は開く事は出来ませんでした。多田先生を中心に絆は強い



ものでした。会に出席して、第六時代の思い出に笑いこぼし、友人のご苦労話に涙したり勇気づけられたりすると、閉会の頃には不思議と若々しい気持ちになつて帰宅致しました。昭和五十一年多田先生を御送り致しましたが、先生の御遺志でクラスに過分の御贈与を頂戴致しました。私達は各自思い出の品を購入し、皆で箱根へ一泊旅行を致しました。其の後先生の御命日の御参り等、数限りなく思い出がめぐります。私達は今年八十四歳となり、遠出や会の運営が難しくなつてまいりましたので、お揃いのハンカチーフを記念品として、六十一回目最後のクラス会を開きました。同じ「時」を共に生き、友情を育んで来た幸を各自感じ乍らのお別れ会になりました。

三年一組クラス会

13-1 長塚 朝子(金児)
13-1 五十嵐直子(近藤)

五月六日、新宿「ほり川」にて十四名の参加者のもと三年一組のクラス会を行いました。還暦を迎える年といつても一昔前とは意識が違いますが一つの節目として、三年振りの再会となりました。

大変残念なことに秋山先生のご出席は戴けませんでしたが、先生からのお手紙を皆で読ませて戴き、お元気なご様子に安心して次回のご出席を是非にと切望いたしました。

大阪から駆け付けて下さった方を始め、初参加が三名有りました。各自の近況報告で進行的でしたが、前回にも増して更に有意義なお話が伺えました。皆様それぞれ地域で職場で家庭でと若々しく元気に活躍されていらつしやる様子に触れ、素敵に歳を重ねてこられたこととお見受け致しました。予定の時間もアツという間に過ぎ、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

湘南支部だより

19ウ 越村 苗子(森田)

風薫る五月、素晴らしいお天気の中、久しぶりに湘南ワカバ会を開催する事が出来ました。今回は私共を含め、会員の方々も大分お年を召して参りましたので、駅の近く、階段の少ない処に

ということで、藤沢駅に隣接した小田急デパートの七階にある美濃吉(京懐石)で行いました。私共の大先輩である二回生の方もお元気に御出席頂き、皆様方も初めてお逢いした方もすぐに慣れ、まるでクラス会の様な、なごやかで、そしてにぎやかな会でした。



次回には三田高校の方々にも多数御出席して頂きたいと思っております。今回は二十一名の出席でございました。当日の写真を添え御報告申し上げます。

二六回一年七組

書道クラスの集い

(二度とあのお店には行けない)

26-2 鈴木 達也

去る五月二十五日(土)、銀座三丁目のオシャレなイタリアンレストラン





「ペルガメーナ銀座」に、二六回一年七組書道クラス有志が集まり、ワイワイガヤガヤ昔話に花を咲かせました。わが一年七組では、当時いたずらが主流。偽チャイムや偽校内放送を流し、授業を中断させたこともたびたびでした。(迷惑をかけた先生・同級生の皆様、首謀者にかわりまして、今更ながらお詫びいたします。)このような話題で、当日は大変に盛り上がり、まわりのオシャレなカップルやお店への迷惑を多少気にしつつも、各自が席を移動して写真を取りまくり、それぞれ楽しいひと時を過ごしました。帰り際の店長の苦笑いが全てを象徴していたようです。他クラスながら、会場をセツトし参加してくれた任都栗・加藤(豊)の両氏に感謝です。また、やりましょう!

わ

同期会、クラス会、
OB会、支部会など、
同窓生のお集りなら
なんでも結構です。
楽しい原稿を
是非お寄せ
下さい。

今年も逢いました

— クラス会開催

6・5 飯山 精三

過る六月七日、会場から母校の校舎を間近く眺望できる東京プリンスホテルに於てクラス会が開催されました。逢う機会を毎年設けようという趣旨により、前年に引き続きの開催です。クラス会の名称も「二九の会(ふくの会)」と決まり、これは二十九年卒業に因んだもので、ふくは福に通じます。本年三月には待望の会報第一号が発刊されました。

さて、参加した二十一名の普てのクラスメート達、アルコールが進み、会話も大いに弾んだことは云うまでもありません。その嬌声が会場いっぱい一段と高くなってきた頃「楽しいことは直ぐに終わってしまう。」の喩えどおり、四時間という長目に取った宴会時間は、あつという間におひらきの時を迎えることとなりました。

次年度の開催日時も既に決まっております、一同再会を楽しみにして家路に向かった次第です。

第11回定期演奏会報告

三田フィルハーモニーオーケストラ
(旧国名三田高校OBオーケストラ)

44・5 松崎由香子

三田フィルハーモニーオーケストラ第11回定期演奏会が去る六月八日(土)、大田区民プラザ大ホールで盛大に行われた。指揮は当団常任指揮者の鴨志田達哉氏。1曲目はパーセル作曲の組曲「アブデラザール」で、高貴な雰囲気の中にも激しさを秘めた曲調で聴衆をひきつけた。そして2曲目、ブルック作曲の「ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調」は、当団きつてのヴァイオリニストである浦田美穂子がソリストをつとめた。幼い頃から培ってきた技術力を存分に発揮、曲の持つ哀愁、優しさ、華麗さを見事に表現し、五百名を越す観客を動員した会場は、感動の声と温かい拍手で沸いた。メインプログラムである3曲目、ベートーヴェン作曲の交響曲第5番「運命」は、苦悩の底から湧き上がる究極の幸福や歓喜を表現した力強い演奏となった。

今年恒例となった、休憩時間の団員手作りのお菓子とお茶のサービスも好評。今年もアットホームで温かい雰囲気コンサートとなった。

SWEET MEMORIES

～オセンチ山 No.1～

高校時代『オセンチ山』といえば、部室があったり、スポーツテストの時に50m走をした小さな運動場があったことなど思い出すが、もう一つ忘れられない思い出がある。

それは確か2年生の時の白珠祭のことである。男子バレー部の招待試合があるというので、体育館に行った。もうすでに試合は始まっていた。体育館に入り相手チームのメンバーの一人に私は自分の目を疑った。中学2年の時他県へ転校していった彼がいたのだ。試合が終わり、着替えのためにオセンチ山の部室へ行こうとする彼を呼び止めた。もしかしたら人違いかもしれないと思いつつ。振り向いた彼は、

まっすぐに私を見て私の名前を呼び、こう言った。「元気だった?」以前と変わらないさわやかな彼の笑顔に、一瞬ドキッとしたが、すぐに我にかえりオセンチ山で久しぶりの会話を楽しんだ。部員の一人が持ってきてくれた差し入れのキャンディを、私に「食べる?」と言って差し出した。私は嬉しくてずっとそのキャンディを見つめていた。結局食べずに持って帰った。思えば、そのキャンディは私が彼からもらった、初めてのプレゼントだったような気がする。

昔に比べて、今では『オセンチ山』は少しばかり小さくなってしまったが、これからずっと三田校生を見つめていてほしい思っている。私のような小さな小さな思い出を閉じ込めたままで。(26回 K.T.)

わかバ会行事に参加して

古都鎌倉の

新しい魅力を探る(2)

315 鈴木 桂子(斎藤)
315 藤浪 優子(是枝)



説明を受けました。奥行深く見せる為に遠近法を用いた設計には驚きました。私達の歩幅で納得出来ました。鶴岡八幡宮に昇殿しお祓いを受けた後直会所にて彌生様よりお話を伺いました。参詣者は年間千六百万、千七百万人との事、神苑ばたん庭園を散策、ぼたんは満開枝垂れ桜も同時に観賞出来ました。各自昼食後、江の電口に集合、銭洗弁財天では鶯の声に歓迎され、小銭を箆に入れて洗いご利益を願いつつ佐助稲荷の赤い鳥居をくぐり、極楽寺の茅ぶ

きの山門ではリスに見送られました。稲村が崎でははるかな江の島の落日を写すためのカメラの放列にはびつくり岬にて逗子開成中の悲劇「七里ヶ浜哀歌」と文部省唱歌「鎌倉」を合唱して今回の小さな旅の幕を閉じました。来年のパート(3)が楽しみです。
(平成十四年四月五日実施)

第九回ゲーム大会に参加して

(3回生城代静の姉)

太田 ふさ



お世話役(中村様)の御尽力の賜で嬉しい麻雀大会に参加させて頂きました。始めから優勝者は、何か一筆をと知らされておりましたが、絶対一番になることはないと考えておりましたのに、全くまぐれの賞を頂く破目に、書くことはもうスゴークつきの苦手、参りました。五時間の闘いは明るく和やかにすぎ心待ちしたゲームの一日も終わりました。メンバーの調整、決定、会の進行、連絡とこまごまし

た配慮、さぞお疲れのこととお察し致し感謝の心です。それでも、もう次回に心を馳せ心待ちしている私です。

皆々様も、普段のお忙しさから一時逃れて、この際次の機会には是非御参加下さいますよう(頭の体操にも少しは役立つとか)楽しいひとときを共有出来ますことを、ねがっております。

一位 太田 ふさ(会員姉)
二位 岡村 博子(1313)
三位 芦田 町子(511)
ワカバ会賞 森田きよ子(会員友人)
B・B賞 松崎喜美子(711)
ホタル賞 城代 静(313)
(平成十四年六月五日実施)

コーラスのつどいに参加して

1116 西沢 淳子(吉田)



七月三十日、三十一日軽井沢ワカバ会山荘での「コーラスのつどい」に、同期の内田順子さん、山口総子さん

指導によりコーラスが始まる。総勢24名。気がつくくと初参加の私達の不安は

すでに無く、いつのまにかすばらしいハーモニの中居て心ゆくまで楽しく歌うことができた。

部屋にもどつてからは、夜の更けるのを忘れて高校時代のなつかしい話に花が咲く。まるで修学旅行のよう。

翌朝、小鳥の囀りで目を覚まし、朝食後記念撮影。すっかり打ち解けたお仲間、別れを告げる。加藤先生の優しいご指導とお世話いただいた竹内理事の温かい心遣いに感謝しつつ山荘を後にし、猛暑の東京へ。皆様も是非ご参加を！(平成十四年七月三十日実施)

「コーラスのつどい」に参加して

植松 洋子

(52回生植松唱の保護者)

息子が卒業して三年、「コーラス」の文字があつたためか、初めてワカバ会会報誌を見せてくれました。

軽井沢にワカバ会の山荘があることも初めて知りました。

ただ長いだけのコーラス歴ですが、歌うことは大好きで、早速友人三人と申し込ませていただきました。

加藤先生の細いお身体にパワー溢れるご指導は、発声から始まり、わかりやすく、そして楽しく、三時間があっという間に過ぎました。

同窓生ではなく、保護者の参加は初めてということの後で伺い、ご迷惑ではなかったかと思っております。

例年になく異常な暑さの夏、クーラーのない軽井沢の寝苦しい夜には参りましたが、本当に素敵な夏の思い出



始めにお断りしますが、この記事は連載物に非ず。幹事さんの絶大な努力で十九回を迎えました。然し、山荘の赤字運営問題で二十回を待たず、今回で幕を閉じるという前提でした。何年も賑わし組の一員で終わってしまうのかと心に云い聞かせて、雨中を参加した。男としては宇野君に次ぐ多いハンディキャップを背負っての参加。毎年上位の五百森君が御不幸で急遽不参加五組目三人でスタート。立ち上り三ホールを予想外の連続パーで上り、師匠筋の小林皓、老練な鈴木義守両君のペースを些か乱し、前半九オパー四五で終了。宇野君も好調で四六とか。後半は悪天候に体力負けし、差引き六三、宇野君は五八。会則により、宇野君二位、棚ボタで優勝が頭

苦節?年

(第19回ゴルフコンペ)

8-3 吉野 茂

なりました。お世話下さいましたスタッフの皆様にも御礼申し上げます。
(平成十四年七月三十日実施)

音楽療法・入門篇

4-7 吉岡 邦



九月七日の音楽療法講座は日本では始まったばかりの学問であり講師の昭和音楽大学土野先生の熱意をひしひしと感じさせるものでした。特にビデオによる音を自由に駆使した障害児治療の実際には人間の持つ機能とそれを引き出す愛情と努力に感動を覚えました。医療の目的の幾分かは医師との信頼関係による納得にあると思う私は、とかく患者の顔も見えないような医療の昨今に、心の治療を目的に音楽を使いその力を最大に発揮させるための研究の理論は将来の一般医療にも希望を持てるものでした。

若い時にはおそらく誰もが友とする音楽、そしてその後常に音楽と共にあった人、私のような長い間途絶えていた人、それぞれの立場からその力を知

上に! 皆さんありがとう。複雑な気持ちです。小生にとつてゴルフは益々バ!ビバです。
(平成十四年九月六日実施)

山荘利用者の声

お気に入り追加

30-4 河野 裕子(金井)

高校卒業して二十五年めの今年の夏初めてワカバ山荘に行った。以前から先輩や同級生からは山荘が実はとっても良い所だと噂では聞いていた。今年の会報で山荘が閉鎖されるかも?という記事を読み、ちよつと焦り、それでは一度は泊まってみようと思った。

卒業以来三田高そのものとはご無沙汰だったが、若い頃の職場でも、夫の転勤先の香港、バンコクでも、私は必ず三田高の同窓生と出会った。不思議とご縁が絶えないのである。

この二、三年は仕事が忙しく、三田の友人たちとも疎遠になっていたが、山荘に宿泊したことで、また高校時代を懐かしく思い出すことができた。軽井沢にある山荘なんていうと、かなり華やかで賑やかなイメージが湧くが、山荘はひっそりと静かな隠れ家的存在。日常生活を忘れ郷愁に浸るには絶好の場所である。あんまり宣伝すると予約が取り辛くなりそうなので秘密にしておきたいが、利用者が少なくて閉鎖されても困る。微妙・・・。

〈これからのワカバ会行事〉

只今参加者募集中

●〈暮らしの中の法律相談〉

期日: 2003年1月26日(日) 13時~15時
場所: 三田高校応接室
講師: 笠原俊也氏 (15-4)
内容: 参加者のアンケートをもとに
会費: 1,000円 (資料・茶菓他)
申込締切: 2003年1月15日(水)
定員: 25名

●〈第6回ワカバ会小さな旅〉

~古都鎌倉の新しい魅力を探る③~
期日: 2003年3月28日(金) 10時~17時
集合場所: JR横須賀線 北鎌倉駅
見学場所: 北鎌倉の観光ポイントあれこれ
講師: 中村 實先生 (東北文化学園大学教授 専門: 観光学・交通論)
参加費: 4,000円 (保険料・見学料・資料他)
昼食は各自随意のため含まれません。
申込締切: 2003年3月14日(金)
定員: 25名 (都合により、期日が変更になりました。)

※いずれの行事も
最少催行人数10名といたします。

情報ひろば

◆新刊紹介

『開けごまクッキング』

著者：岩崎園江(村松)(3-2)

発行所：創森社 定価：1,300円＋税

小さなゴマ粒には大きなパワーがあり、生活習慣病や骨粗鬆症の予防、細胞の若返りなどさまざまな効果を発揮します。しかも、おいしく身近で安価でかおりがよく、ふんだんに使うことのできる優れた食材です。

そこでゴマの成分、効能を明らかにしながら使い方無限大のゴマだれ、ドレッシング、ふりかけ、ゴマたっぷりのヘルシーおかず、ゴマの力を生かしきるごはん、麺・汁もの、さらに甘さ控えめのゴマデザート、飲み物の作り方、楽しみ方を紹介しました。また、ゴマを調理に生かすコツ(煎る・する・切る・ひねる)についても分かりやすく解説、ゴマとゴマ料理の魅力にとことん納得していただきたいという願いがお伝えできれば幸いです。

◆退官記念・第27回 桐生郁子独唱会

～グスタフ・マーラーに寄せて～

賛助出演 ビヨン・ホーガン(テノール)、
ワルター・モア(ピアノ)

大地の歌(中国の笛より)全6曲…G.マーラーほか

日時：2002年11月21日(木) 19時

場所：東京文化会館小ホール

全自由席 5,000円(税込)

マネージメント 二期会(03-3796-4711)

(割引あり、TEL 03-3202-1818 桐生まで)

◆三田高校29回生 卒業25周年同期会

日時：2002年11月23日(土) 午後5時～

場所：銀座スターホール(銀座4丁目交差点)

サッポロ銀座ビル9F(日産ショールームのビル)

中央区銀座5-8-1 TEL03-3571-5371

幹事 平山(29-2) 048-442-5590

E-mail: czf12361@nifty.ne.jp

◆第31回 加藤恭二子先生 ソプラノリサイタル

日時：2002年11月10日(日)

午後2時30分開演

場所：トッパンホール

文京区水道1-3-3 TEL 03-5840-2200

飯田橋下車13分

チケット代：4,000円

曲目：Catalaniの歌劇「La Wally」より、

それでは遠くへ行ってしまうでしょう、など

先生は、昭和30年東京芸術大学声楽科卒業、昭和37年から16年間三田高校で音楽を教えていらっしゃいました。

昭和42年から毎年続けてリサイタルをなさり、18年前からは度々アメリカに渡って、「カルーソー」の発声法(ベルカント唱法)を学び続けられています。

問い合わせは

三田高校内 戸田雅子(19-1)へ

FAX 03-3453-2899

◆三田フィルハーモニーオーケストラ

第12回定期演奏会

日時：2003年6月15日(日)

13:30開場 14:00開演

会場：大田区民プラザ大ホール

(東急多摩川線下丸子駅前)

曲目：未定

指揮：遠藤浩史氏

★三田フィル団員募集!!

私どもは、管弦学部(室内学部)OB会の三田フィルハーモニーオーケストラ(旧三田高校OBオーケストラ)です。いつも当団の活動に、ご理解とご支援を頂き誠にありがとうございます。

当団では、一緒に演奏していただける団員を大募集しております。高校在学中のクラブ、年齢、経験などは一切問いません。

現在、来年6月に予定している定期演奏会に向けて練習をしております。

練習場所：主に港区内、大田区内の公共施設
練習日程：月に2回程度(土曜日夜間、日曜日午後)、他に合宿(GW予定)があります。
団費：年間1万円(他に演奏会負担金あり)

一緒に演奏できますことを、団員一同、心からお待ちしております。見学も随時受け付けております。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

情報ひろばはあなたのひろばです。どしどし情報をお寄せください。

総会報告

第六十五回ワカバ会総会は、五月十九日(日) 正午より三時まで、母校音楽講堂で開催されました。

本年は定足数百名に對して、百六十一名の会員、十四名の客員の出席を得ました。

会長挨拶では、定足数を優に超すご出席は、ホームカミングデーのプランの成果と思う。また今年度の決算上、このままでは山莊を廃止せざるを得ないので、会員皆様の活用や現役三田高生のゼミ活動の利用をお願いしたい。評議委員会でもこの問題について活発に議論し、何とか維持、在続をという意見が多かったが、皆様のご意見をどうとんと取り入れたいのでご検討いただきたいと要望がありました。

続いて平成十三年度事業報告・決算報告が承認され、平成十四年度事業報告も満場一致で承認されました。

恒例の懇親会は大勢の出席者で一層活気に満ち、ホームカミングデーの皆様には二倍チャンスと福引とオセンチ山をバックの記念写真でたのしんで頂けたと思います。また、高十九回有志のバンド演奏が更なる華をそえて下さいました。新会員の若い方々の歓声に沸き立つうちに、たちまち閉会の時間を迎え無事終了いたしました。

ホームカミングデーにて 饗け校歌

24-3 天河 雅治

本当に、本当に久しぶりだったので。まさかもう一度こんなに大声で三田の校歌を歌いまくることができるとは、思ってもいませんでした。おまけに第六高女の校歌まで歌ってしまいました。同窓会には初参加です。歴史が長い分、知らない人ばかりの同窓会には出席しにくかったのですが「ホームカミングデー」の企画で、同期の集合が楽しみな会となったのでした。この試みはずっと続けて下さい。

先輩の皆さんのバンド演奏というユニークなムードの中で、あたたかい時間を持つことができました。料理も工夫されて食べやすいものでした。幹事の皆様の御苦労がしのべれます。



ところで同期の女性はい、私と同年のはずなのになんてあんなに若々しいのか、これはいまだにナゾであります。

理事会報告

平成十三年度七月より
平成十四年五月

前回のわかば50号で理事会のあり方と主たる内容を報告致しましたので、今後は原則として二ヶ月に一度開催される理事会の主たる報告を致します。

第三回(13・9・8 4時~9時)

ワカバ会山莊にて開催 屋根・壁の点検をし、その後定例の理事会。各委員会報告及び検討をする。

第四回(13・11・15 6時半~9時)

会費二重払防止について、山莊収支報告、わかば51号について

第五回(14・1・16 6時~7時45分)

総会・評議員会日程、ホームカミングデーの方法、山莊運営について

第六回(14・3・25 6時半~9時)

特に総会準備、企画委員会新企画、Eメール開設について

第七回(14・4・22 6時半~8時45分)

平成十三年度決算報告・平成十四年度予算案、監査報告、総会確認事項、山莊委託契約

評議員会(14・5・12 2時~)

評議員数71名(定足数過半数36名)出席数19名・委任状36名 合計55名

平成13年度事業報告ならびに決算報告、平成14年度事業計画、ならびに

予算案が全員一致で承認された。

委員会報告

総務委員会

本年度は五月十九日(日)に第65回総会が無事終了いたしました。今年は新プランのホームカミングデーの呼びかけを致しましたところ昨年より70名も多いご出席を頂き盛会でした。来年も引き続きいたしますのでお誘い合わせてご出席下さい。

事務局員二名を採用いたしました。七月と八月から勤務されています。

委員長 竹内 和世(5-4)

瀬戸 武虎(9-2)

鈴木美智子(9-3)

平山 孔嗣(29-2)

企画委員会

当委員会は、十四年度より新メンバーも加わり、変化に富んだ企画行事を年六本計画、実施中です。

春には日帰りの小さな旅、初夏にはゲーム大会(麻雀)。秋と冬には講座ものを開催しています。どうぞ皆さん友人と一緒に参加下さいませ。

委員長 中村左都子(7-2)

桐生 郁子(4-1)

戸田 雅子(19-1)

「委員会報告」は15ページに続きます。

平成13年度 決 算・平成14年度 予 算

(自平成13年4月1日
至平成14年3月31日)(自平成14年4月1日
至平成15年3月31日)

(単位:円)

科 目	平成13年度予算	平成13年度決算額	平成14年度予算
収入の部			
1 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	800,000	493,271	450,000
基本財産配当収入	55,000	26,661	25,000
2 会費・入会金収入			
入会金収入	1,410,000	1,415,000	1,390,000
維持会費収入	8,500,000	9,554,000	9,400,000
3 事業収入			
山荘事業収入	4,300,000	3,488,554	5,000,000
総会費収入	100,000	101,000	150,000
貸付金返還収入	0	142,000	192,000
4 寄付金収入			
寄付金収入	0	0	0
特別寄付金収入	0	0	0
5 雑収入			
受取利息収入	70,000	72,098	60,000
配当金収入	0	0	0
雑収入	100,000	54,170	0
6 特定預金取崩収入			
山荘積立金取崩収入	0	0	34
7 繰入金収入			
駐車場会計山荘繰入金収入	4,200,000	3,782,207	3,400,000
駐車場会計繰入金収入	2,400,000	2,400,000	2,600,000
当期収入合計 (A)	21,935,000	21,528,961	22,667,034
前期繰越収支差額	64,886,730	64,886,730	64,965,906
収入合計 (B)	86,821,730	86,415,691	87,632,940
支出の部			
1 事業費			
総会費	1,000,000	974,077	1,500,000
会報発行費	4,800,000	4,873,391	5,000,000
新会員記念費	190,000	183,232	190,000
山荘運営費	8,400,000	7,270,761	8,000,000
行運事費	100,000	58,000	120,000
2 管理費			
給与手当	4,800,000	4,558,201	4,800,000
旅費交通費	700,000	673,620	100,000
通勤費			600,000
消耗品費	130,000	156,548	130,000
通信搬費	225,000	184,197	225,000
印刷製本費	120,000	126,000	120,000
会費徴収費	280,000	331,300	350,000
情報管費	300,000	386,173	300,000
会議費	300,000	334,207	300,000
交際費	100,000	98,000	100,000
雑費	100,000	181,654	100,000
3 固定資産取得支出			
什器備品費	50,000	155,946	100,000
4 貸付支出			
貸付支出	144,000	288,000	144,000
5 特定預金支出			
山荘積立金繰入	0	0	0
6 予備費支出			
予備費	196,000	616,478	488,034
当期支出合計 (C)	21,935,000	21,449,785	22,667,034
当期収支差額 (A) - (C)	0	79,176	0
当期繰越収支差額 (B) - (C)	64,886,730	64,965,906	64,965,906

事業運営委員会

会報「わかば」本年 5 月号の山荘特集で窮状を訴えましたが、その結果二十名弱の会員から意見が寄せられ、山荘存続派と廃止派がほぼ半数ずつでした。又、総会直前の評議員会での意見も同様でした。会員の共有財産の運営に係わる重大な事項ですので、意見を寄せて下さった会員、評議員、過去数回山荘を利用した会員の中から三十名程度の代表者を選任して、山荘検討小委員会を設置し、今後の方針を慎重に討議して頂いた後、遅くとも来年三月迄には理事会の最終決定を仰ぐ予定で

本年度の利用状況(八月末の集計)

山口謙一郎(811)
竹内 和世(514)
後藤眞理子(1917)

パソコン委員会

パソコン委員会は、会員名簿データ管理を中心に活動してまいりましたが、今後は、ホームページ作成及運営、メールの活用による会員の皆様の御意見の収集にも力を入れてまいります。

ホームページのあり方等に関しまして御要望ございましたらお知らせ下さい。適切な情報発進、コミュニケーション

ヨンの場にしてゆきたいと思えます。

委員長 平山 孔嗣(2912)

田中 浩(3215)
小針 淳(4013)

会計委員会

日頃維持会費の納入に御協力いただきまして、有難うございます。

御承知のとおり、近年の預金利率の低下により、ワカバ会の基本財産、運用財産の利息収入が、以前に比べて極端に落ち込み、皆様の御協力による維持会費収入が重要な財源となっております。

山荘、駐車場の健全な運営はもとよりですが、現在会員の約四分の一の方々にしか御協力を得ていない維持会費につきましても、なお一層の増収をはかりたく、ワカバ会会計委員ほか関係者一同心からよろしくお願い申し上げます。

委員長 笠原 俊也(1514)

茨木 万理(191エ)
平山 孔嗣(2912)

広報委員会

今年も、「わかば」51号(春号)と52号(秋号)の発行を行いました。

軽井沢山荘をはじめとして、ワカバ会の抱えている大切な問題を、会員の皆様に共に考えていただく契機となれば幸いです。

委員長

田中 浩(3215)
田村 和子(1015)
津田 一哉(3218)

(敬称略)

追悼 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

所属	逝去年月	所属	逝去年月
旧職員	平成 14. 3	13-ア	14. 4
旧職員 5-エ	14. 6	13-エ	14. 3
1-A	14. 4	14-エ	14. 2
1-B	14. 5	14-エ	14. 6
1-C	13. 8	15-ア	14. 2
2-B	11.10	15-ウ	14. 3
2-B	13.12	15-エ	14. 6
2-B	13. 6	15-オ	13.11
2-B	14. 3	16-ア	14. 3
2-B	13.10	16-ア	12.10
2-B	14. 7	16-ア	13. 9
2-E	14. 3	16-エ	14. 6
2-D	14. 6	16-エ	13.12
3-A	14. 2	17-イ	14. 3
3-B	14. 8	19-ウ	14. 7
3-C	14. 3	22-イ	14. 3
4-イ	14. 5	3-2	14. 4
5-イ	13.12	3-6	13.12
5-エ	14. 1	4-6	14. 3
6-エ	14. 4	4-6	12. 7
6-オ	14. 5	5-4	13. 5
7-イ	14. 4	5-5	14. 4
7-イ	14. 2	7-5	14. 7
7-エ	14. 7	8-2	14. 8
7-エ	14. 8	8-5	14. 1
8-ア	14. 2	14-2	13.12
8-イ	14. 9	15-4	14. 3
8-ウ	13. 4	18-3	13.11
8-オ	13. 6	21-7	13.10
9-イ	14. 7	22-3	14. 7
10-ア	14. 3	24-2	14. 2
10-ウ	14. 1	29-5	14. 8
11-ア	14. 1	40-3	9. 1
12-イ	14. 5	42-1	14. 2

PTA広報誌より

三田高校、PTAからの依頼により、PTA広報誌への原稿、講演会の講師等、ご協力いただいた方々です。どうもありがとうございました。

・講演会講師(平成13年5月)

任都栗新(26-7)「教育とコンピュータ」

・広報誌掲載「卒業生は今」欄(平成13年~14年)

石井久美子(小島)(6-1)、久行範彦(41-2)

渡辺禮子(野口)(11-6)、吉田 誠(32-2)

御寄付御礼

◆ 第六高女8-U組の皆様から、2万2千円の御寄付をいただきました。ありがとうございました。

◆ 第六高女9-E組の皆様から、8千円の御寄付をいただきました。ありがとうございました。

ワカバ会駐車場

(所在地：大田区鵜の木3-32-10)

お近くにお住まいの方は、ご利用ください。駐車場料金等詳しいことはワカバ会事務局までお問い合わせください。(8月31日現在満車)

事務局だより

◆ 今年になってから、来年の三田高校創立80周年を口実に、電話で寄付を募る悪質な手口の詐欺が横行している、とのご連絡を何件かいただいております。ワカバ会がそのような形で寄付をお願いすることは絶対にありません。皆様、ご注意ください。

編集後記

◆ 今回のわかば52号では、前回に引き続き山荘のことを話題にさせていただきました。現状としては、存続は非常に困難なこととなっていますが、だからといって、簡単に閉館してしまうというような問題ではないからです。たくさんのご意見、ありがとうございました。理事会では『山荘検討小委員会』を作る事が決定され、今後、存続についての話し合いをしていくことになりました。

◆ 最後になりますが、ワカバ会ホームページができました。この会報誌『わかば』とあわせてご覧ください。なるべく、最新の話題を取り入れて、更新なども活発に行っていきたいと思えます。(T)

◆ 一年前のワカバ50号より、表紙がカラーになりました。今回の表紙は、成田禎介さん(9-6)にお願いして、美しい作品を掲載することができました。

次の53号でも、会員の皆様の作品をカラーでご覧いただければと考えておりますので、作品を募集いたします。自薦、他薦、どちらも歓迎します。締切は、平成15年2月末日、事務局まで。

◆ 校舎も周辺も変わっていく三田高校の中で、唯一、その面影をとどめているのがオセンチ山です。今回から、皆様のオセンチ山にまつわる思い出を連載することになりました。(5ページ参照)原稿を募集しますので、是非ご応募ください。長さは、400字詰原稿用紙一枚程度。締切：平成15年2月末日

宛先：ワカバ会事務局

◆ ワカバ会では、かねてからホームページの準備をすすめておりましたが、11月から試験運用を開始する予定です。

<http://www.wakaba-kai.org/>

◆ クラス会、同期会の幹事の方には名簿、宛名プリントアウト(有料)を承りますのでご利用ください。

◆ 事務局では、昨年度退職された5名の方に代わって、昨年7月から、村木真知子(岸川)(24-2)、三谷恵子(渡辺)(30-1)、野口徳子(金井)(32-6)の3名が、今年7月から間馬淑恵(板垣)(28-3)、綱島弘子(35-1)の2名が加わり、現在8名が交代で勤務しております。よろしくお願いいたします。



軽井沢スケッチ
大部瑳智子(角野)(12-7)